

電源について

※通常は、シガープラグコードを接続せずに使用できます。

■ソーラーバッテリーの充電と使用方法

本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、ソーラープレートによる太陽光からの充電ができます。初めてご使用になるときは、付属のシガープラグコードを使い、充電しながらご使用ください。(走行中、駐車中にも太陽光から充電されますが、気象条件、使用環境に左右されないより確実な初期充電を行うことができます)

シガープラグコードで充電する場合、バッテリーアラームが鳴った状態からは、約15時間(例 1日3時間で5日間)でフル充電できます。電源スイッチのON/OFFに関係なく充電できます。

1度充電したあとは、バッテリーランプが点滅を始めるまで、シガープラグを抜いて、そのままお使いください。

※初期充電を充分に行えば、使用中のバッテリーの消費分は、走行中や駐車中に太陽光からの充電で補充されます。

フル充電したあとは、まったく充電されない状態でも約50時間*(無警報時)の連続使用ができます。※連続使用時間は、各種機能の設定状態により異なります。

内部のバッテリーには寿命があります。充電が充分でなくなったら、新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが、約3～5年を目安にしてください)交換については、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

冬期は、日照時間やソーラーバッテリーの性能上、充電しにくくなる場合があります。バッテリーアラーム機能がひんぱんに働くときは、シガープラグコードを接続した状態での使用をお勧めします。

電池交換の方法

内部のバッテリーには寿命があります。充電が十分でなくなったら、新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが、約3年～5年を目安にしてください)

- 本機は専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため専用電池以外は使用しないでください。新しいバッテリーについては、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所、サービス部にご相談ください。

■オートパワーOFF機能について

アイドリングなどの振動の少ない状態(停車中)や、エンジンを切ったときなど振動のない状態(駐車中)が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。(その後、振動を検出すると電源が入ります)

※振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。使用しないときは電源スイッチで電源を切ってください。

※走行中でも、停車や低速運転などで、振動を検出できない状態が約3分間続いた場合にはオートパワーOFF機能が働きます。

バッテリー表示機能について

■ローバッテリー表示について

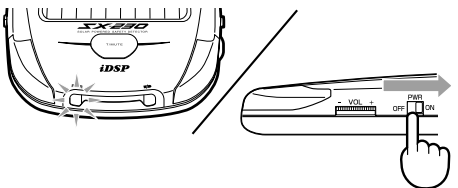
初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続きバッテリーが消耗してくると、バッテリーランプが点滅し、ローバッテリーアラーム(㊦)ピピッ…ピピッ…)が鳴り出します。このようなときは充電が必要です。付属のシガープラグコードを使い、充電しながらご使用ください。

バッテリーの状態	バッテリーランプ
バッテリーが消耗し、充電が必要な状態	点滅 
バッテリーが消耗し、すぐに充電が必要な状態 (探知機能は動作しなくなります)	点滅  ローバッテリーアラームが鳴ります (約1分間)

音量 / 受信感度を設定する

1 電源を入れる

電源スイッチをONにします。



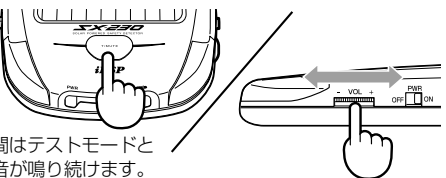
確認音(㊦)ピロピロピ…)が数秒間鳴り、パイロットランプが点滅します。※節電のため、パイロットランプは点滅で動作します。

受信感度について

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信しやすくなります。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。



※テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。

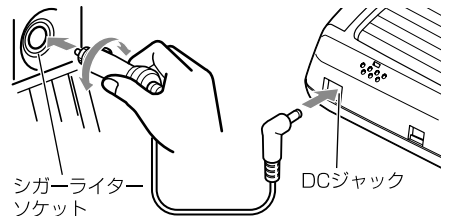
■受信感度の切り換え

	受信感度	走行環境や条件
高い ↑	ウルトラ感度モード 	郊外や高速道路
低い	カットダウンモード 	市街地

シガーライターソケットからの充電と使用方法

付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。



シガーライターソケット DCジャック

⚠ 警告

！ 助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

- 本機はDC12V(マイナスアース)車専用です。
- シガープラグコードで充電する場合、バッテリーアラームが鳴った状態からは、約15時間でフル充電できます。
- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、別売のOP-4を使用してください。
- 本機をバッテリーなどと直接接続すると破損の原因となります。絶対におやめください。

IDSPについて

本機はIDSP / 統合的デジタル信号処理技術(Integrated Digital Signal Processing Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」や、新Hシステムの「種類の異なる電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常の警報音とは違うニアミスアラーム(㊦)ピロピロピロ…)でお知らせします。【ステルス識別 / 新Hシステム識別】またカーナビからのGPSのモレ電波などの妨害電波は、的確に識別し、誤警報を排除しています。さらに、温度変化などによる周波数ズレを自動補正しています。【GPS排除:特許 第3044004号】

- ※IDSPを解除することはできません。
- ※IDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

新Hシステムについて

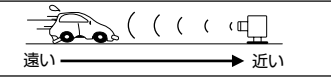
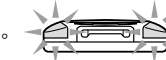
電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。



警報機能について

Wアラーム方式

音(電子音)と光(アラームランプ)のダブルで警報します。

取締りレーダー波 発信源との距離		電子音アラーム	断続音から連続的に変化します。
アラームランプ	点滅速度が変化します。 		

●警報が続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。(オートクワイアット/ディーマー機能)

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近に応じて変化します。

便利な機能について

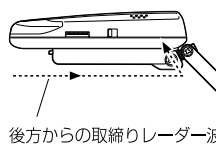
オートクワイアット/ディーマー機能

警報音が約20秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、アラームランプなどのランプ類も暗くなります。

新方式ブラケット

●後方からの取締りに対応

リフレクションプレートにより、後方からの取締りレーダー波をより確実に受信することができます。



後方からの取締りレーダー波

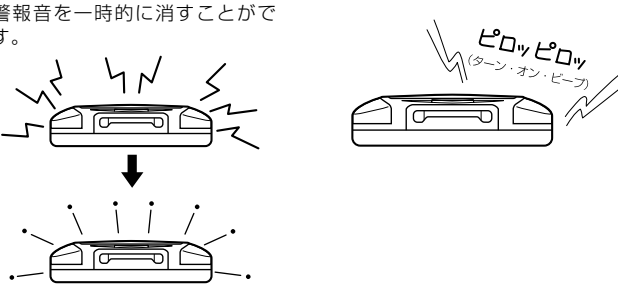
ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができた

警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

ターン・オン・ビーブ

電源スイッチを入れたときや、オートパワーON機能により電源が入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。



ピロピロピ (ターン・オン・ビーブ)

ステルス型取締り機について

ステルス型取締り機は他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して、速度の測定ができる狙い撃ちの取締り機です。従来機では、先頭を走行せずに2番手以降で走行していても、一瞬しが警報されません。

取締り機(電波の種類)	警報音
通常の取締り機 (常時発射されている連続波)	警報音が鳴ります。電子音は断続音から連続音に変化します。
ステルス型取締り機 (必要なときのみ、短時間発射される狙い撃ち的な連続波)	ニアミスアラーム(ピロピロピロピロ…)が鳴ります。
新Hシステム<新型オービス> (常時発射されている、種類の異なる電波)	警報音で鳴りはじめ、新Hシステムを識別するとニアミスアラームが鳴ります。

GPS排除について

カーナビゲーションの中には、取締りレーダー波と同一周波数帯の電波を漏洩しているものがあります。従来機では、これが原因で警報が鳴りっぱなしになることがありましたが、この電波を安易に排除すると、肝心の取締りレーダー波に反応しないという、相反する問題がありました。本機では、取締りレーダー波にはしっかり反応するよう、取締りレーダー波や自動ドアの電波とのわずかな違いを的確に識別することにより、GPSの漏洩電波のみを自動排除し、誤警報を防止しています。(自動識別&排除設定機能)

- 警報が約20秒以上続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。
- ニアミスアラームは、ミュート機能により、一時的に消すこともできます。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ニアミスアラームが鳴ることがあります。

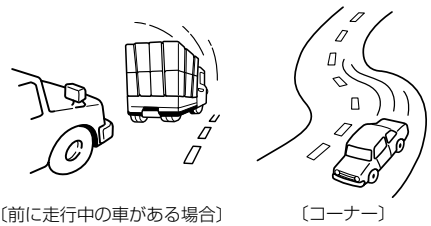
さらに、自動設定後も、一定の間隔で排除設定の内容および温度変化などによる周波数変動の状態を常にチェックし、変化があれば自動的に補正し、誤警報を排除しています。(自動補正機能) 【特許 第3044004号】

※カーナビゲーションからの影響を排除している場合、受信している電波の識別判定がしにくく、新Hシステムやステルス波に対しても通常の警報音となる場合があります。※自動ドアなど、常に電波の出ている場所でエンジンを開始すると、GPSを排除できない場合があります。このようなときは電波の出ていない場所に移動して、再度、本機の電源スイッチを入れ直してください。

受信しにくい場合

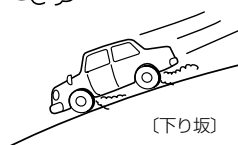
電波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



(前に走行中の車がある場合)

(コーナー)



(下り坂)

- 対象の車が近くに来るまで、電波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輦通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。[いつも鳴るから]と安心せずに注意してください。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。※本機は後方受信しますが、この追尾方式は電波を出していませんので、受信および警報することはできません。

2. 距離と時間で算出する方法(光電管式、ループコイル式)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や埋め込みの磁気スイッチなどが使われています。

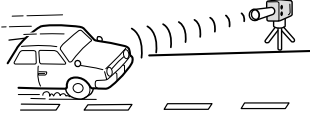
※これらの方式は電波を出していませんので、受信および警報することはできません。

3. 電波を使って算出する方法(レーダー式)

電波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。

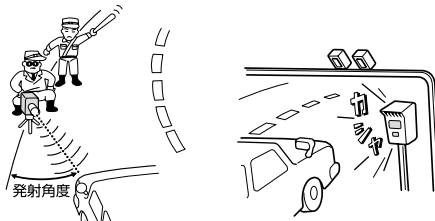
この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流となると思われます。



取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

- 定置式**
人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いいため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。
- 移動式**
測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。
- 自動速度取締り機(オービスIII)**
速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



Kバンドについて

Kバンドは、米国ですでに使用されている取締りレーダー波の周波数で、日本国内でも採用される可能性があります。本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、Kバンドも受信できるX・Kツインバンド対応です。

本機はレーダー方式のスピード測定装置に対応します。※探知距離は、走行環境、測定条件などにより変わることがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書(本取扱説明書に付いています)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

3. 対象部分

機器本体(消耗部品を除く)

4. 修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

●保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器本体とシガープラグコードをご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

ます、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

5. アフターサービス等についてご不明の点

お買い上げの販売店または下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日9:00～17:30です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしていません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

●ユビテルご相談窓口一覧

お客様ご相談センター TEL. (0564)45-5599

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北1条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区即町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)461-1281 〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町6-5
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、市外番号などを確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

仕様

電源電圧 : 3.6V(ニッケル水素電池1.2V×3) 1.2V(シガープラグ入力電圧)	受信周波数 : Xバンド、Kバンド 動作温度範囲 : -10℃～+85℃ (充電可能温度範囲: -5℃～+85℃)
消費電流: 待機時 3mA以下 最大 45mA以下 (電子音アラーム時)	本体外形寸法: 64(W)×18(H)×90(D)mm (突起部含まず)
受信方式: スイプオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	本体重量 : 95g

※製品改良のため、仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。